

令和5年度 横浜市立浦島小学校 学校説明会


- 1 校長あいさつ
- 2 本年度の教育活動（主な変更点）
- 3 中期学校経営方針



令和5年度 横浜市立浦島小学校 学校説明会

- 1 校長あいさつ
- 2 本年度の教育活動（主な変更点）
- 3 中期学校経営方針





本動画は、保護者の皆様に配布させていただいた紙面資料と同じ内容になります。



本年度の教育活動（主な変更点）について

① 4年生～6年生の校外学習概要

学年	形態	概要	およその費用
4年生	日帰り 愛川方面	8：00頃浦島小学校集合⇒愛川繊維会館レインボープラザにて藍染体験⇒愛川公園にて昼食・レク⇒宮ヶ瀬ダム見学⇒浦島小学校着⇒16：20頃解散	約6,000円
5年生	1泊2日 三浦方面	【1日目】 いつも通り登校⇒八景島シーパラダイスにてグループ活動・昼食⇒三浦海岸で地引網体験、海岸レク⇒ホテルマホロバにて宿泊 【2日目】 ホテルマホロバ発⇒観音崎自然博物館にて磯の体験学習、昼食、博物館見学など⇒浦島小学校着⇒15：15頃解散	約22,000円
6年生	1泊2日 箱根方面	【1日目】 いつも通り登校⇒鎌倉着・鎌倉散策・昼食⇒小田原城にてグループ活動⇒高原ホテルにて宿泊（キャンプファイヤー） 【2日目】 高原ホテル発⇒彫刻の森にてグループ活動・昼食⇒浦島小学校着⇒15：15頃解散	約16,000円



中期学校経営方針

学校教育目標

中期取組目標

重点取組分野

浦島市立 浦島小学校 令和4 - 6年度版 中期学校経営方針	
<p>学校教育目標</p> <p>○自ら学ぶ子 ①自ら進んで学習に取り組み、夏方・考え方を働かせ、友達と協働して解決に向かって学び続ける子育てます。(学び続ける子) ②多様な人との関わりを通して思いやりの心をはぐくみ、自分や相手大切に育てます。(共に生きる子) ③自分の体や心に心をもち、健康的な生活を送ろうとする子育てます。(健やかな子) ④地域の村に学びながら地域に愛着をもち、地域に誇りを持って生きていく子育てます。(浦島の子) ⑤多様な人とのコミュニケーションを通して視野を広げ、持続可能な社会の創造に向け行動しようとする子育てます。(未来を創る子)</p>	<p>創立 103 年 校長 黒川 直希 副校長 長島 真弓 学年制 一般学級: 18 特別学級: 1 児童数 543 人 主な関係校: 浦島中学校</p>
<p>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</p> <p><課題解決能力> <自分つくりに関する力></p>	<p>浦島中学校 浦島小学校 子安小学校 神奈川小学校</p>
<p>中期取組目標</p> <p>○育成を目指す資質・能力を養い、問題解決的な学習活動に取り組みます。 ・断片的な活動を通して子どもたちが考えを深めたり、解決策を導き出したりする力を付けます。 ・対話的な活動を通してコミュニケーション力を身に付けるようにします。 ・教職員間で自己責任の意識についての共通理解を深めたり、子どもたちに自己決定の機会を与えるなどの指導をしたりして、子どもたちの自己肯定感を高められるようにします。</p>	<p>小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</p> <p>人とのつながりを大切に、ねばり強く社会を生きぬく子</p> <p>「9年間で育てる子ども像」を踏まえて、小中一貫教育推進ブロックで協議し、協議した内容を踏まえて、年2回の授業研究会を行ったりする。 ・児童生徒交流日等を通して、6年児童が中学校生活を理解し、スムーズに中学校生活へ移行できるようにする。 ・中学校生活への移行を通して、中学校生活への理解を深め、</p>
<p>重点取組分野</p>	<p>具体的取組</p>
<p>授業改善</p> <p>①協働的な学習活動を通して、子どもたちが考えを深めたり、解決策を導き出したりする力を付けます。 ②子どもたちの思考力を伸ばす効果的な学習活動、特にタブレットの活用ができるように、日常的に活用場面を試しながら授業に活かす。</p>	<p>①協働的な学習活動を通して、子どもたちが考えを深めたり、解決策を導き出したりする力を付けます。 ②子どもたちの思考力を伸ばす効果的な学習活動、特にタブレットの活用ができるように、日常的に活用場面を試しながら授業に活かす。</p>
<p>豊かな心</p> <p>①児童の人間性を高められるように、人権の指導計画の充実を図る。 ②思いやりの心を育て、自己肯定感を高めることができるように、身に付けさせたい資質能力を明確にした上で活動を行う。 ③自己肯定感を高めるための教育活動を進めるように、カリキュラムでマネジメントを推進する。</p>	<p>①児童の人間性を高められるように、人権の指導計画の充実を図る。 ②思いやりの心を育て、自己肯定感を高めることができるように、身に付けさせたい資質能力を明確にした上で活動を行う。 ③自己肯定感を高めるための教育活動を進めるように、カリキュラムでマネジメントを推進する。</p>
<p>健康安全教育</p> <p>①心身の健康に関する知識を身に付けるように、さまざまな学習活動を行い、健康課題を把握する。 ②体力向上を図ることで、体育の学習をより一層充実させる。 ③自らの安全を確保する。</p>	<p>①心身の健康に関する知識を身に付けるように、さまざまな学習活動を行い、健康課題を把握する。 ②体力向上を図ることで、体育の学習をより一層充実させる。 ③自らの安全を確保する。</p>
<p>地域学校協働活動</p> <p>①地域の人と大切に関わり、地域に愛着をもち、地域に誇りを持って生きていく子育てます。 ②地域の村に学びながら地域に愛着をもち、地域に誇りを持って生きていく子育てます。</p>	<p>①地域の人と大切に関わり、地域に愛着をもち、地域に誇りを持って生きていく子育てます。 ②地域の村に学びながら地域に愛着をもち、地域に誇りを持って生きていく子育てます。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>①いじめの早期発見・早期対応ができるように、定期的なアンケートや相談を実施し、情報収集や学年研究で情報共有に努める。 ②組織的な対応を行うことにより、いじめの発生を未然に防ぎ、未然防止に努める。</p>	<p>①いじめの早期発見・早期対応ができるように、定期的なアンケートや相談を実施し、情報収集や学年研究で情報共有に努める。 ②組織的な対応を行うことにより、いじめの発生を未然に防ぎ、未然防止に努める。</p>
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>①指導力・授業力・評価力・支援力に関する力を向上できるように、教科分野別に取り入れたい学年研究を充実させたりする。 ②授業力や教員としての資質能力を高めるように、全教職員が関わりながらメンター研修を行う。 ③時間を有効に活用できるように、会議内容や方法の精選、見直しを図る。</p>	<p>①指導力・授業力・評価力・支援力に関する力を向上できるように、教科分野別に取り入れたい学年研究を充実させたりする。 ②授業力や教員としての資質能力を高めるように、全教職員が関わりながらメンター研修を行う。 ③時間を有効に活用できるように、会議内容や方法の精選、見直しを図る。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>①基礎学力の定着や学習意欲の向上を図るために、さわやかな教室で、支援が必要な児童への適切な指導を行う。 ②SCやSSW、通級指導教室や個別指導センターとの連携を図る。 ③継続的な支援を実施できるように、個に応じた指導・支援計画を作成する。</p>	<p>①基礎学力の定着や学習意欲の向上を図るために、さわやかな教室で、支援が必要な児童への適切な指導を行う。 ②SCやSSW、通級指導教室や個別指導センターとの連携を図る。 ③継続的な支援を実施できるように、個に応じた指導・支援計画を作成する。</p>
<p>児童指導</p> <p>①アンケート・ブレインストーミングを活用し、学年や学級の風土づくりについて話し合い、児童の笑顔に応じた具体的な取組を実施したりする。また、関係機関の協力を得て、本校の風土づくりに向けた研修を充実させる。 ②児童指導年間計画に基づき、全校でふれ合いの指導を行っていくことができるように、学年研究などで児童指導年間計画に基づいた振り返りを行う。</p>	<p>①アンケート・ブレインストーミングを活用し、学年や学級の風土づくりについて話し合い、児童の笑顔に応じた具体的な取組を実施したりする。また、関係機関の協力を得て、本校の風土づくりに向けた研修を充実させる。 ②児童指導年間計画に基づき、全校でふれ合いの指導を行っていくことができるように、学年研究などで児童指導年間計画に基づいた振り返りを行う。</p>

小中一貫教育
 「9年間で育てる子ども像」と
 具体的取組

* 浦島小学校HPに掲載されています。

中期学校経営方針

重点取組分野

- 授業改善
- 豊かな心
- 健康安全教育
- 地域学校協働活動
- いじめへの対応
- 人材育成・組織運営（働き方）
- 特別支援教育
- 児童指導



授業改善

①他者との関わりを通して合意形成していくことができるように、コミュニケーション力に焦点をあてた研究を継続して推進していく。各教科の話合い場面やグループでの学習場面など、視点を明確にして研究を深められるようにしていく。

②子どもの思考の深まりを促す効果的なICT機器、特にタブレットの活用ができるように、引き続き日常的に活用場面を試行錯誤しながら授業に臨む。あわせて教職員のスキル向上に努めていく。



豊かな心

- ① 児童の人権意識を高められるように、人権の指導計画のさらなる充実を図る。
- ② 互いのよさを認め合い、自己肯定感を高めることができるように、身に付けさせたい資質能力を明確にしたたてわり活動を行う。
- ③ 自己肯定感を意識した教育活動を進めていけるように、カリキュラムマネジメントを推進する。



健康安全教育

- ①心身の健康に対する意識を高められるように、すくすく会議を年2回行い、健康課題を把握する。
- ②体力の向上を図ることができるように、体育の学習をより一層充実させていく。
- ③自らの安全を確保するための判断力や行動力を育成できるように、引き続きねらいを明確にした避難訓練を行う。



地域学校協働活動

①地域や人を大切にしようとする気持ちを育むことができるように、総合的な学習の時間や生活科の学習の中で、地域の材を生かした単元づくりや多様な方々との関わり合いを大切にしていける。地域の材の活用方法や各学級の取組状況など、教職員間での情報共有をさらに進めていく。

②日々の教育活動の充実を図るために、学校運営協議会を年3回開き、教育活動への理解をいただいたり、地域学校協働本部との連携をより一層深めたりする。



いじめへの対応

- ① 児童一人ひとりを丁寧に見取り、いじめを生まない学級、学年、学校の風土をつくり、未然防止に努める。
- ② いじめの早期発見・早期解決ができるように、定期的に児童へのアンケートや面談を実施し、情報収集や学年研での情報共有に努める。
- ③ 組織的な対応を行うことができるように、認知したいじめ案件をその都度、また、月1回の対策委員会・職員会議で情報共有し、学校全体の問題として解決していく。



人材育成・組織運営（働き方）

- ① 授業力・学級経営力・学年経営力・児童指導・支援に関する力を向上できるように、教科分担制を取り入れたり、学年研究会（学年研）を充実させたりする。
- ② 授業力や教員としての資質能力を高められるように、全教職員が関わりながらメンター研修を行う。
- ③ 教職員の心身のゆとりを生み出し、日々の教育活動の充実や子どもたちの成長につなげていくことができるように、教育活動や業務の精選、見直しを図る。



特別支援教育

- ①基礎学力の定着や居場所づくりができるように、さわやか教室で、支援が必要な児童への個に応じた指導を行う。
- ②SCやSSW、通級指導教室や東部療育センターとの連携を密にする。
- ③継続的な支援を実現できるように、個に合った指導・支援計画を作成する。



児童指導

- ① Y P アンケート・プログラムを活用し、学年や学級の風土づくりについて話題にしたり、児童の実態に応じた具体的な取組を実践したりする。また、関係機関の協力を得て、本校の状況に合わせた研修を充実させる。
- ② 児童指導年間計画に基づき、全校でぶれのない指導を行っていくことができるように、学年研などで児童指導年間計画に基づいた振り返りを行う。



令和5年度 横浜市立浦島小学校 学校説明会

- 1 校長あいさつ
- 2 本年度の教育活動（変更点）
- 3 中期学校経営方針

